



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社
 コード番号 8793 URL <https://www.necap.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今関 智雄
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 児玉 誠一郎 (TEL) 03(6720)8400
 四半期報告書提出予定日 2020年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	168,155	8.2	9,313	12.2	9,984	21.3	6,221	30.4
2019年3月期第3四半期	155,471	△2.4	8,297	△30.8	8,229	△31.3	4,770	△15.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,628百万円(51.3%) 2019年3月期第3四半期 5,702百万円(△40.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	288.93	—
2019年3月期第3四半期	221.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	942,637	106,000	10.0
2019年3月期	895,683	105,999	9.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 94,305百万円 2019年3月期 88,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	2.9	10,000	12.0	10,000	12.3	6,500	1.7	301.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	21,533,400株	2019年3月期	21,533,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	507株	2019年3月期	466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	21,532,897株	2019年3月期3Q	21,532,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお予想数値に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

- ・四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) セグメント別の状況	9
(2) 営業資産残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足に対応した省人化投資や大都市圏を中心とする国内設備投資に加え、10月の消費増税前の駆け込み需要を背景に、緩やかな拡大基調が継続していると考えられます。一方で、米中貿易摩擦の先行きや英国のEU離脱、主要各国の金融政策など国内景気に大きな影響を及ぼす可能性のある不確定要素も多く、今後の動向を注視する必要があると考えております。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の2019年12月累計のリース取扱高は、前年同期比8.6%増の3兆8,332億円と、消費増税後の反動減を吸収し、前年同期を上回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、主要顧客である官公庁自治体との良好な取引関係を活かして取引規模の拡大を図ると共に、大型のベンダーファイナンス案件の獲得やWindows10の入替需要を取り込んだICTレンタルの増加等により、当第3四半期連結累計期間における契約実行高、成約高共に前年同期を大幅に上回る結果となりました。

ファイナンス事業においては、それぞれの顧客の資金需要に沿った幅広いファイナンススキームの提案や、独自の顧客基盤の拡充、深耕等により、契約実行高、成約高共に前年同期を上回る結果となりました。

リサ事業においては、ファンドビジネスにおける投資有価証券の売却や配当収益により、売上高、営業利益共に前年同期を上回りました。

また、その他の事業においては、当期に大型の売却収益を計上したことから、売上高は前年同期を上回り、営業損失は改善しました。

経営成績においては、売上高、売上総利益共に営業資産の積み上げや投資有価証券の売却等により、賃貸・割賦事業をはじめ、すべてのセグメントで前年同期を上回っております。また、営業利益、経常利益については、主にリサ事業の増益に伴い前年同期比増となり、非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した後の親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を上回る結果となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,681億55百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益93億13百万円(同12.2%増)、経常利益99億84百万円(同21.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益62億21百万円(同30.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比3.2%増の1,289億2百万円となったものの、営業利益は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比9億43百万円減少し25億63百万円となりました。

②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、前年同期比11.3%増の50億83百万円となり、営業利益は前年同期比2億円増加し27億81百万円となりました。

③リサ事業

リサ事業の売上高は、当期の大型のファンドによる営業投資有価証券の売却や配当収益により前年同期比20.7%増の158億31百万円となり、営業利益は前年同期比11億7百万円増加し53億58百万円となりました。

④その他の事業

その他の事業の売上高は、当期に大型の賃貸資産の売却等があったことから前年同期比42.7%増の183億94百万円となり、営業損失は前年同期比5億27百万円改善し1億90百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて469億54百万円増加し、9,426億37百万円となりました。主な要因としては、営業投資有価証券が53億42百万円減少したものの、営業貸付金が341億91百万円、リース債権及びリース投資資産が87億88百万円、割賦債権が64億28百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて469億53百万円増加し、8,366億37百万円となりました。主な要因としては、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が287億59百万円減少したものの、コマーシャル・ペーパーが380億円、短期借入金が291億9百万円、社債（1年内償還予定の社債を含む）が100億円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1百万円増加し、1,060億円となりました。主な要因としては、非支配株主持分が53億37百万円減少したものの、利益剰余金が当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益等により49億29百万円、その他の包括利益累計額が4億9百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年10月29日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,041	25,566
割賦債権	20,234	26,663
リース債権及びリース投資資産	431,727	440,515
貸貸料等未収入金	20,201	21,976
営業貸付金	243,682	277,874
買取債権	12,873	10,125
営業投資有価証券	18,392	13,049
販売用不動産	3,740	3,159
その他	13,686	14,747
貸倒引当金	△4,950	△4,476
流動資産合計	780,629	829,201
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	54,703	53,296
社用資産	4,842	5,117
有形固定資産合計	59,546	58,413
無形固定資産		
賃貸資産	1,426	1,324
のれん	2,364	1,564
その他	2,120	2,171
無形固定資産合計	5,910	5,060
投資その他の資産		
投資有価証券	39,247	40,719
その他	12,569	11,781
貸倒引当金	△2,220	△2,539
投資その他の資産合計	49,596	49,961
固定資産合計	115,054	113,436
資産合計	895,683	942,637

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,439	913
買掛金	18,912	19,645
短期借入金	40,492	69,602
1年内返済予定の長期借入金	143,667	96,238
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	168,000	206,000
債権流動化に伴う支払債務	4,079	3,551
未払法人税等	812	257
賞与引当金	832	981
その他	17,652	19,500
流動負債合計	415,890	426,691
固定負債		
社債	70,000	90,000
長期借入金	286,421	305,091
債権流動化に伴う長期支払債務	8,679	6,126
退職給付に係る負債	2,139	2,074
その他	6,553	6,653
固定負債合計	373,793	409,945
負債合計	789,684	836,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,645	4,645
利益剰余金	80,156	85,085
自己株式	△0	△0
株主資本合計	88,577	93,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537	783
繰延ヘッジ損益	△298	△74
為替換算調整勘定	154	89
退職給付に係る調整累計額	△4	△1
その他の包括利益累計額合計	388	797
非支配株主持分	17,032	11,694
純資産合計	105,999	106,000
負債純資産合計	895,683	942,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	155,471	168,155
売上原価	135,389	145,751
売上総利益	20,082	22,403
販売費及び一般管理費	11,784	13,090
営業利益	8,297	9,313
営業外収益		
受取利息	9	19
受取配当金	65	67
持分法による投資利益	3	—
投資事業組合等投資利益	371	475
その他	38	197
営業外収益合計	487	760
営業外費用		
支払利息	15	14
持分法による投資損失	—	49
投資事業組合等投資損失	30	12
為替差損	495	—
その他	13	13
営業外費用合計	555	89
経常利益	8,229	9,984
特別損失		
災害による損失	100	—
特別損失合計	100	—
税金等調整前四半期純利益	8,129	9,984
法人税、住民税及び事業税	1,598	1,250
法人税等調整額	270	513
法人税等合計	1,868	1,763
四半期純利益	6,260	8,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,490	1,998
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,770	6,221

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,260	8,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	323
繰延ヘッジ損益	△197	209
為替換算調整勘定	21	△65
退職給付に係る調整額	△131	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△61
その他の包括利益合計	△558	408
四半期包括利益	5,702	8,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,207	6,630
非支配株主に係る四半期包括利益	1,495	1,997

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	124,939	4,568	13,119	12,888	155,516	△44	155,471
セグメント利益 又は損失(△)	3,506	2,581	4,251	△717	9,621	△1,324	8,297

(注) 売上高の調整額△44百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△1,324百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	128,902	5,083	15,831	18,394	168,212	△56	168,155
セグメント利益 又は損失(△)	2,563	2,781	5,358	△190	10,513	△1,200	9,313

(注) 売上高の調整額△56百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△1,200百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

(1) セグメント別の状況

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	124,939	114,451	10,487	2,365	8,121	4,614	3,506
ファイナンス事業	4,568	46	4,521	975	3,546	964	2,581
リサ事業	13,119	5,275	7,844	298	7,545	3,294	4,251
その他の事業	12,888	11,928	959	56	902	1,620	△717
調整	△44	△10	△33	—	△33	1,290	△1,324
合計	155,471	131,692	23,779	3,696	20,082	11,784	8,297

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	128,902	118,311	10,590	2,251	8,338	5,774	2,563
ファイナンス事業	5,083	227	4,855	962	3,893	1,111	2,781
リサ事業	15,831	6,910	8,921	279	8,641	3,282	5,358
その他の事業	18,394	16,758	1,635	60	1,575	1,765	△190
調整	△56	△11	△45	—	△45	1,155	△1,200
合計	168,155	142,197	25,958	3,554	22,403	13,090	9,313

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……………株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……………物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

(2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間 (2018年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (2019年12月31日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
貸貸・割賦事業	477,654	59.3	521,800	60.3	44,145	507,839	61.4
ファイナンス事業	264,374	32.8	290,516	33.5	26,142	254,015	30.7
リサ事業	60,770	7.6	49,960	5.8	△10,809	62,070	7.5
その他の事業	2,113	0.3	3,645	0.4	1,532	2,908	0.4
合計	804,912	100.0	865,923	100.0	61,010	826,834	100.0

(注) 当第3四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が9,183百万円、買取債権が10,125百万円、営業投資有価証券が10,916百万円、販売用不動産が1,647百万円、投資有価証券が18,088百万円となっております。